

ICT を活用した各学校の取組みについて

文部科学省が全国的に進めているGIGAスクール構想に基づき、小中学校において全児童生徒用の学習用端末の整備を昨年度末に完了した。児童生徒にとって学習意欲を高める授業を実践することを目標とし、教職員の授業の質の向上と児童生徒の確かな学力の定着を図る。

具体的には、今年3月末から随時教員研修を行ったり、指導者用デジタル教科書の導入を行ったりしている。以下は、各校の取組状況である。

【長瀬第一小学校の取組】

長瀬第一小学校では、昨年度末に整備した一人一台端末(タブレット)や校内無線LAN環境を効果的に活用するため、「情報収集と情報活用ができる児童の育成 ～ICT機器を効果的に活用した授業の工夫～」を本年の研究主題に掲げ、年度当初より研究を進めている。今夏整備したプロジェクターも始業式や授業で随時活用している。

以下は、タブレットやプロジェクターを活用した授業の一例である。

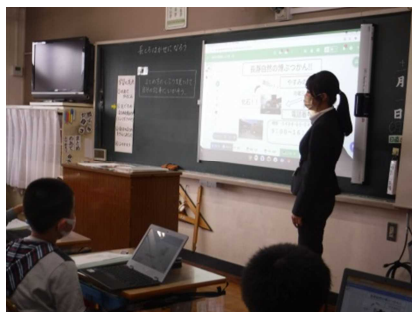


【教職員】校内研修

- ・国語科…ワープロソフトを活用し、文章の校正を繰り返し行う。
- ・理科…実験や観察の様子をタブレットで記録する。
- ・図工科…描写対象の記録や作品の鑑賞に活用する。
- ・総合的な学習の時間…調べ学習や発表に活用する。
- ・その他…連絡帳に書く内容をタブレットで伝える。学級でのアンケートをタブレットで行い、結果をグラフで示す。



【4年】図工科



【3年】総合的な学習の時間



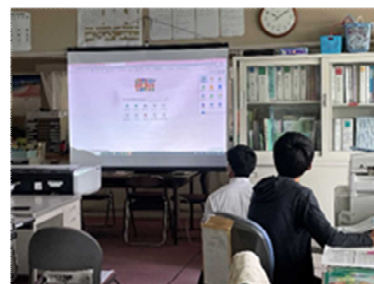
【6年】総合的な学習の時間

【長瀬第二小学校の取組】

長瀬第二小学校では、1年生～6年生が授業の内容に合わせて、以下のような場面でタブレットを活用し、学習している。

- ・国語の授業で音読の様子を撮影
- ・総合的な学習の時間に調べ学習
- ・社会科で地図を見て気づいたことの共有
- ・理科の実験や観察の様子を記録
- ・ローマ字の学習
- ・生活科の観察記録
- ・児童朝会をオンラインで実施

また、定期的に職員を対象にした研修を行い、タブレットやアプリの授業における活用方法について共有している。今後も研修を継続し、授業の目標、子供たちの実態に合わせた活用を検討している。



【長瀬中学校の取組】

中学校では、タブレットを使用することによって、最大限の教育効果が発揮できるよう各教科で創意工夫をしながら活用している。以下は、各教科の活用方法の一部である。

◎英語科

教科書に掲載されているQRコードをタブレットで読み取り、タブレットの画面に表示された課題を自分のペースで取り組んでいる。

◎保健体育科

ダンスや跳び箱運動、柔道等の授業で、互いの演技をタブレットで撮影して、グループでその動画を見て、アドバイスを送り、相互に技能を高め合っている。「主体的で対話的な深い学び」を目指した授業が実現できている。



◎社会科

タブレットでグーグルアカウントのクラスルームを活用して授業を展開している。お互いの考えを教室のテレビ画面ですばやく知る事ができ、効率よく社会科の事象を学ぶことができる。



◎美術科

作品制作の参考写真の撮影、資料収集等に使用している。根拠を持ち、自己の学びを深めることを目指している。